



活動報告 八代農業高校「就労支援研修会」：つまずきを「孤立」にしないために

令和8年2月17日、熊本県立八代農業高等学校の先生方を対象とした「就労支援研修会」が開催され、アクロスより講師として参加させていただきました。

八代圏域の支援体制を共有 当日は、八代圏域における相談支援の構造を中心に、障害福祉サービスを利用する際の流れや、多岐にわたるサービスの種類について詳しくお話をさせていただきました。

現場で向き合う先生方の「葛藤」 研修の後半では、「適切な支援に結びつかない」「繋ぎ先となる医療機関が見つからない」「就職後に初めて表面化する困難さへの対応」など先生方が日々直面されているリアルな苦悩が語られました。

生徒たちの未来を思うからこそ、「失敗させてはいけない」という学校の立場としての葛藤も深く伝わってきました。アクロスからは、生徒たちが社会でつまずいた際、自らSOSを出せるような環境づくりを強調してお伝えしました。そのためには、先生方が「困った時の具体的な相談先」を必ず生徒たちへ手渡ししておくことが、何より確かな支えとなります。社会に出る際、あえて「失敗する権利」を保障することも一つの学びですが、その背後には必ず支えが必要です。障害や特性のある生徒を社会に送り出すとき、先生方が地域にある専門の相談先を知っていること。それ自体が、生徒たちにとって最大のセーフティネットになると信じています。これからも、学校と地域支援機関が手を取り合い、一歩ずつ歩みを進めていければ幸いです。



スタッフのつぶやき小窓



春はあけぼの……と言いたいところですが、年中マスクが手放せない私には、花粉が舞う少し憂鬱な季節です。先日も、自宅の椅子の上でいつものように正座をしていたら、足が激しくしびれてしまい……。そのまま立ち上がろうとして派手につまずき、なんと足の骨にひびが入るという大失態！そんなトホホな日々を救ってくれるのが、少し贅沢なドリップコーヒーです。丁寧に淹れた一杯の香りに包まれる時間は、痛みを忘れさせてくれる至福のひとつ。仕事においても、コーヒーを淹れる時のように「一つひとつ丁寧に、落ち着いてこなすこと（足元にも注意!）」を日々心がけています。怪我にも負けず誠実に頑張りますので、よろしくお願いいたします。



新しい春 揺れる心もそのまま

3月は卒業や進学、就職、あるいは新しい事業所への通所など、生活の「節目」を迎える方が多い季節です。楽しい反面、「新しい場所に馴染めるかな?」「体力が続くかな?」と、ソワソワしたり不安になったりするのは、とても自然なことです。心が揺れるのは、あなたがそれだけ新しい環境に対して真剣に向き合おうとしている証拠でもあります。



周りの景色が変わっても、私たちの相談窓口はここにあり続けます。困ったとき、迷ったとき、あるいは「ちょっと話を聞いてほしい」とき。いつでもこれまで通り、気軽にお声がけください。あなたの新しい一歩を、私たちはいつも応援しています。

2月の活動内容 Main activity

- 4日 地域移行支援部会
- 9日 アクサポ（相談支援事業所訪問）
- 12.13日 ピアサポーター養成研修（専門編）
- 13日 氷川町民生委員・児童委員協議会
- 13日 八代地域こころの健康希望の会理事会（事務局運営）
- 17日 八代農業高校教員研修（福祉サービスと就労選択支援について）
- 20日 障がい者支援協議会 全体会
- 20日 氷川相談所
- 25日 ゲートキーパー養成研修（民生委員向け）
- 25日 熊本県基幹相談支援センター連絡協議会
- 7.21日 あくろスペース

中高生の居場所づくり

あくろスペース

開所日はこちらから確認できます▶

